

みんなでやらいや!

「やらいや逢坂」設立総会

～まちづくり活動報告～(第27回)



▲事業について説明する白石善則委員

住民の思いを形に 逢坂地区に地域自主組織発足

「まちづくり逢坂地区会議」と異業種の若者で構成するまちづくり団体「築き会」が中心となり、地域自主組織「やらいや逢坂」が設立されました。

設立総会は、3月9日(日)に中山

公民館で開かれました。約80人が参加し、組織の設立と組織規約、まちづくり計画が承認されました。
この組織は、大山町上市にある「まぶや(旧馬淵邸)」を拠点に活動します。

「やらいや逢坂」の活動

やらいや逢坂は、「まぶや」を地域

- ① 高齢者の健康づくり、
- ② 文化芸術活動、
- ③ 子育て支援、
- ④ 若者の移住定住支援

などの事業を住民主体で行っていきま

地域自主組織とは

概ね旧小学校区を区域とし、住民の積極的な地域づくりの参加や集落の連携により地区全体の活性化を図るための組織。

*平成24年12月には、高麗地区で「ふれあいの郷かあら山」が設立され、本町では2例目です。

《まちづくり御来屋地区会議が報告》

協力と支えあいが大切 防災訓練で再認識

まちづくり御来屋地区会議の主催で、同地区の住民を対象にした防災訓練を3月9日(日)に行いました。

今年は、避難者が「自らが何をするか」というテーマで実施。「水道水は出ない」の想定で、湧水がある自治会から、避難先の保健福祉センターなわまで水を汲んできたり、食糧を運搬したりしました。段ボールで仕切りをした避難所づくりや、紙を使ってコップや皿なども作りました。被災直後から物資が届くようになるまでの数日間を、どのようにして乗り切ればいいのかを実践しました。炊き出しにも、多くの方がすすんで協力してくださりました。

また、各自治会で配布された防災用品や御来屋10区の防災倉庫で保管している防災グッズ



◀避難所で段ボールはいろいろと役立ちます

を展示したところ、参加者は、各自治会の防災意識の違いを感じていました。

その他にも大山消防署の協力で、火災時の煙の流れ方を学ぶ「煙体験」や心肺蘇生のための「AED講習」も行いました。

当日の参加は約150人。御来屋地区では、2回目となる防災訓練ですが、前回よりもさらに充実した訓練になりました。

まちづくり御来屋地区会議では、今後も防災意識の高揚を図るために、各自治会の自主防災組織との連携をはかります。